

信州高大連携「探究的な学び」プロジェクト

高大連携による主体的な学びを通して「信州で学び続ける」若者を応援

県民文化部、教育委員会事務局

～社会経済構造の大きな転換期～

- AI・IoT等の先端技術の急速な進歩
- SDGs(持続可能な開発目標)の課題への対応
- 人生100年時代の到来

～高校生に身につけさせたい力～

- ★時代の変化に対応して未来を切り拓いていく力
- ★仲間と協働して新たな社会を創造する力

～高大連携による効果～

- ◎高校では学べないプログラムの提供
- ◎キャリア教育のロールモデルの提供
- ◎学びのモチベーションの向上

県内の高等学校と大学・短大が連携⇒『創造的な学び』を創出

県内高等学校

[これまで]

- ・高校単位のキャリア教育の中で「学部」を学ぶ
- ・SGH・SSH・SPH等での講師招聘

[連携の加速に向けて]

- ・県内高校に対しニーズ調査実施
- ・円滑なマッチング(随時)
- ・大学提供プログラムの参加者募集

[連携のメリット]

- ・高校の枠をこえて、意欲ある個々の生徒の「学びの場」が実現
- ・大学の専門知により高校の指導力向上

◎**グローバルな学びへの招待** 大学キャンパスで高校生が海外交流
高校生 × 県内大学生 × 海外大学生

- ・県内大学が海外大学と連携して行うサマースクールに高校生が参加

◎**ブリッジ・プログラム**
高校生が大学で学ぶ

- ・高校生対象の入門的科目を大学で学ぶ
- ・高校生対象の夏季集中講座を大学で学ぶ
- ・双方向のサテライト講座で高校にしながら大学で学ぶ

◎**信州PBL講座** 高校の枠を超え県内高校生が主体的に学ぶ

- ・SDGsの課題に取り組む高校生のPBLを大学が継続的に支援(「応用信州学」)
- ・高校教員・生徒向けのPBL講座

高校生が大学で学び、その後は
・入学後は大学の単位として認定
・特別推薦枠の設定

◎**高校生の卓越性支援** ～数理・言語・芸術等のギフテッド教育

- ・EdTechを活用したSTEAM(科学・技術・工学・芸術・数学)学習プログラム
- ・ギフテッド(才能ある学生)の発掘 ⇒ 大学と連携した特別カリキュラム実施

県内大学・短大

[これまで]

- ・出前講座の実施
- ・高大連携センターの設置(一部の大学・短大)
- ・学生・生徒の協働

[今後に向けて]

- ・各大学・短大が県教育委員会や県民文化部と連携
- ・多様なプログラムの提供

[連携のメリット]

- ・意欲的な志願者の獲得
- ・学生への刺激

連携を加速